

How to
Build

リバースウッド

リバースウッドデッキシステム沿岸仕様について

デッキやボードウォークという構造物の長寿命化を図るためには、表面材となる床板はもちろんのこと、構造体となる下地システム（根太、支持脚）の選定が重要です。そのためリバースウッドデッキシステムでは、計画地の設置環境により「標準仕様」「沿岸仕様」を設けております。

■塩害地域の設定

表-1

地域	岩礁隣接地域	海岸からの距離			
		～1km	1～2km	2～7km	7km以上
沖縄・離島	岩礁隣接地域	塩害地域			
瀬戸内海		塩害地域	一般地域		
北海道・東北日本海側 注1		塩害地域			一般地域
その他の地域		塩害地域		一般地域	

注1)

北海道・東北日本海側で海岸からの距離 7km は塩害地域となり、下記地域が適用されます。

北海道:松前町～稚内市

東北:青森県東海村～山形県温海町

注2)

岩礁隣接地域とは、海水のしぶきが頻繁にかかる、もしくは強風時に海水が直接かかる地域を示します。

sai-BRAND では、表-1 に示す一般地域に該当する計画地には「標準仕様」、岩礁隣接地域に該当する計画地には「沿岸仕様」をお勧めしております。

表-1 に示す塩害地域では、計画地の状況を精査し、仕様を決定することとしますが、リバースウッドデッキシステム標準仕様では、海際の構造物で使用される防錆処理「HDZ55」の性能を上回る高耐食溶融めっき鋼板を下地システムに採用しています。次ページのデータを根拠に、計画地に適切な仕様を決定することとします。

How to
Build

How to Build

リバーウッド

表-2 使用環境別亜鉛腐食速度

<屋外暴露>

暴露試験地域	腐食速度 (g/m ²)	平均 (g/m ²)
重工業地帯	12~18	15
都市地帯	12~18	15
海岸地帯	11~14	13
田園地帯	8~12	10
山間地帯	3~8	6
乾燥地帯	2~5	4

上表より、海岸地帯における耐用年数を算出します。

$$\text{耐用年数} = \frac{\text{亜鉛付着量(g/m}^2\text{)}}{\text{腐食速度(g/m}^2\text{)}} \times 0.9^{*1}$$

$$= 550^{*2} \div 13 \times 0.9 = 38 \text{ 年}$$

※1 この係数は亜鉛皮膜の10%が残っている時点で鉄素地から錆が発生すると仮定した値

※2 高耐食溶融めっき鋼板資料より HDZ55 以上の防錆性能あり

となります。

上記の通り、計算上では「標準仕様」の下地システムでも海岸地帯において十分な耐用年数を持つことができます。

しかし、実際の沿岸域では、越波、飛砂、塩分の付着等、統計計算では図れない要因が存在します。よって sai-BRAND では、沿岸より 200m 以内にデッキシステムを計画する場合、表-1 の分類上「岩礁隣接地域」と見なし、錆び、腐る要素のないマリンランバー（ガラス長繊維強化プラスチック発泡体）根太と SUS304 を基材とした支持脚（HTS シリーズ）で下地システムを構成した「沿岸仕様」をお勧め致します。

以上

平成21年6月9日初版